

公表

## 保育所等訪問支援 事業所における自己評価総括表

○事業所名	八一七二一		
○保護者評価実施期間	R 8年 2月 6日		R 8年 3月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27人	(回答者数) 24人
○従業者評価実施期間	R 8年 3月 1日		R 8年 3月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数) 7人
○訪問先施設評価実施期間	R 8年 2月 6日		R 8年 3月 23日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	22校	(回答数) 20
○事業者向け自己評価表作成日	R 8年 3月 28日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	学校評価より専門性と助言の具体性 ・教職員経験者の支援員の配置により、担任教諭及び施設から 大きな信頼を得ています	・密な情報の共有	専門職の積極採用 ・「専門的な助言」が強みであるため、現在の高い質を維持・分散できるよう、引き続き有資格者の採用を強化します

2	<p>保護者・学校評価より高い満足度と安心感</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者からの高い満足度に加え、学校側からも〔生徒の学習時の集中力が増した・不登校気味な生徒への円滑な対応ができた〕など実質的な成果が認められと評価頂きました</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担任との連携した声かけや支援</li> <li>・迅速な対応に努めている</li> </ul>	<p>職員研修・報連相の継続</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問支援前後に三者の情報共有の充実を図る</li> <li>・ご相談を気軽に申し出られるように支援後の報告時に声かけを行う</li> </ul>
3	<p>三者共通・多職種連携の円滑さ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校、家庭、事業所の間で、課題の共有やケース会議の開催がスピーディーに行われており、チーム支援が機能しています</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な情報を提供出来るように訪問先以外の施設との連携や情報を収集するように努めている</li> </ul>	<p>連携の「質」から「継続性」へ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回の訪問後に必ず行う「ミニカンファレンス」を定例化し、情報の取りこぼしを防ぎます</li> </ul>

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<p>職員評価より「外部評価」に対する認識不足</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・客観的なチェック体制が未整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価機関の依頼料が高額で予算的余裕がない</li> </ul>	<p>沖縄県認証の評価機関へ見積依頼</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受審プロセスを全職員で共有し「仕組み」を理解する</li> </ul>
2	<p>保護者・学校評価より情報周知のばらつき</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所等訪問支援の制度及びサービス内容の理解に不足</li> <li>・保育所等訪問支援の活動内容の報告が弱い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見せる化の充実とパンフレット内容を一部改善</li> <li>・SNSや通信を通して活動の広報や報告が少ない</li> </ul>	<p>パンフレット・説明資料の刷新</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校や保護者に対し、初回訪問前に「支援でできること・できないこと」を明文化した資料を配布し、理解のスピードを早めます</li> <li>・自己評価結果や安全対策マニュアルを分かりやすく図解してHP発信します</li> </ul>

3	<p>職員・学校評価より日程調整とマンパワーの限界</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校側から「時間や曜日の固定・変更」の要望がある一方で、職員側は「負担の偏り」を訴えており、スケジュールの柔軟性とスタッフの余力作りが限界に達している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幅広い年齢層の施設訪問のため各施設の行事や季節特有の日程の急な変更で調整が厳しいときがある</li> <li>・児童・生徒の急な欠席による訪問変更など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問支援員と児童生徒のマッチングの再検討を行う</li> <li>・各施設の年間・月別行事予定を頂き調整を行う</li> </ul>
---	--	--	--